



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

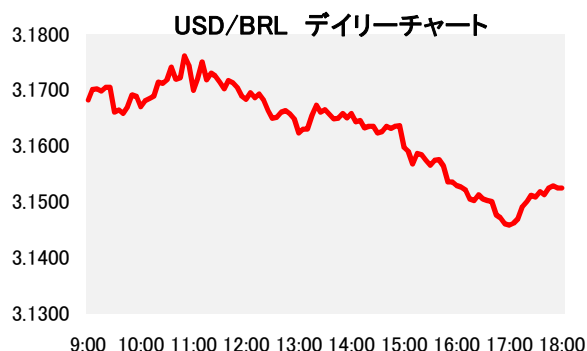
## 1. マーケット・レート

			8月10日	8月11日	8月14日	8月15日	8月16日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1760	3.1940	3.1900	3.1700	3.1520	-0.0180
	BRL/JPY	Spot	34.39	34.19	34.37	34.90	34.95	+0.05
	EUR/USD	Spot	1.1773	1.1821	1.1780	1.1735	1.1767	+0.0032
	USD/JPY	Spot	109.20	109.19	109.65	110.65	110.20	-0.45
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.043	8.042	8.030	8.004	7.991	-0.013
	Future	1Year(p.a.)	7.911	7.926	7.901	7.876	7.894	+0.018
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.152	2.147	2.160	2.139	2.153	+0.014
	USD	1Year(p.a.)	2.374	2.412	2.443	2.457	2.483	+0.026
株式	Bovespa指数		66992	67359	68285	68355	68594	239
CDS	CDS Brazil 5y		207.44	205.04	204.32	201.18	199.34	-1.84
商品	CRB指数		178.914	179.606	177.506	176.305	175.357	-0.95

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

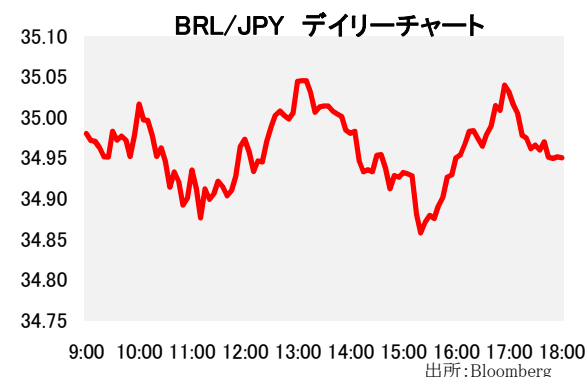
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフレ率IGP-10(前月比)	-0.05%	-0.17%	-0.84%
FGV CPI IPC-S	0.40%	0.40%	0.41%
IBGEサービス部門売上高 前年比	-3.90%	-3.00%	-1.90%
MBA住宅ローン申請指数	--	0.1%	3.0%
住宅着工件数	1220k	1155k	1213k
建設許可件数	1250k	1223k	1275k



## 3. 要人コメント

メイレス伯財務相	財政赤字目標の変更は歳出の増加を意味する訳ではない。
----------	----------------------------



## 4. トピックス

- 昨日のマーケット時間終了後に伯政府は2017年の基礎的財政収支赤字目標を1,390億レアルから1,590億レアルへ200億レアル増額することを発表。また、2018年以降は赤字拡大方向で見直し、基礎的財政収支の黒字転換時期の見込みは2021年に1年延期された。
- 本日のレアルは3.1670で寄り付いた後、直ぐさま日中安値となる3.1770を付けた。しかし財政赤字目標の発表が好感されたほか、S&P社がブラジル格付けに関してクレジットウォッチを解除したことがレアル買いに拍車をかけた。レアルはじりじりと買われ、引け間際に本日の高値となる3.1460を付け、結局3.1520でクローズ。
- S&Pは、5月下旬にクレジットウォッチ(3ヶ月以内の格付け見直し)を適用したが、昨日それを解除。格付けをBBに据え置き、見通しをネガティブとした。
- 米国では7月開催分のFOMC議事録が発表された。インフレ率が中期的に緩やかなペースで目標の2%まで上昇するとの予想を過半数の参加者が維持。また大部分の参加者は9月会合でのバランスシート縮小計画発表を支持した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。